

平成 28 年 10 月 25 日

話 題 事 項

平成 28 年 10 月 14 日 資料提供済

## 第 5.0 回和歌山県私立学校振興大会の開催

和歌山県私立学校連合会では、県内私立学校の振興発展と教育文化の向上に寄与することを目的とした活動を行っており、毎年開催される和歌山県私立学校振興大会を通じて、和歌山県の私立幼稚園・認定こども園、私立中学校・高等学校、私立専修学校・各種学校における使命の重大さを強く認識し、充実した教育を実践することを宣誓するとともに、私立学校へのより一層の深いご理解とご協力を、広く社会に求めているところです。

昭和 41 年から開催され第 50 回を迎える今回の大会では、記念事業としまして特別表彰やヴァイオリンリサイタルも合わせて実施します。

- 日 時 平成 28 年 10 月 26 日 (水) 13:30～
- 場 所 和歌山県民文化会館 大ホール
- 参加者数 県内の私立学校関係者 (約 1,300 名)  
内訳 ・私立幼稚園、中・高校の教職員及び保護者  
・私立専修学校・各種学校の教職員、生徒及び保護者  
・その他一般参加者
- 主たる内容 ・知事感謝状贈呈 8 名 (私立学校教育振興)  
・連合会会長表彰 23 名 (私立学校教育振興)

### ※第 50 回大会記念事業

①連合会会長特別表彰：連合会の発展に大きく貢献した歴代会長 3 名を表彰  
小倉 勲(おぐら いさお)氏、稲田 武彦(いなだ たけひこ)氏、  
西下 博通(にしした ひろみち)氏

②「<sup>とこすみ</sup>往住めぐみ ヴァイオリンリサイタル」 ピアノ伴奏 <sup>おがわ</sup>小川 <sup>ともこ</sup>友子

往住めぐみ：和歌山市出身、和歌山信愛高校卒業、ウィーン国立音楽大学卒業、同大学院修士課程修了

小川友子：和歌山県出身、京都市立芸術大学卒業、ロンドン留学、平成 21 年度和歌山県文化奨励賞、相愛大学音楽学部講師

- 主 催 和歌山県私立学校連合会 (昭和 41 年 4 月設立)  
会長 坂本 順一 ((一社)和歌山県専修学校各種学校協会理事長)  
※和歌山県私立学校連合会は、下記 3 団体の連合体  
①和歌山県私立中学高等学校協会【中学校 7 校・高等学校 9 校加盟】  
②(一社)和歌山県私立幼稚園協会【40 園加盟】  
③(一社)和歌山県専修学校各種学校協会【31 校加盟】

- 後 援 和歌山県

担当	文化学術課
担当者	山田 佳子
電話番号	073-441-2108

第50回

# 和歌山県私立学校振興大会

と き 平成28年10月26日(水)

と ころ 和歌山県民文化会館 大ホール



## 和歌山県私立学校連合会

(一社) 和歌山県私立幼稚園協会

和歌山県私立中学高等学校協会

(一社) 和歌山県専修学校各種学校協会

# 和歌山県私立学校連合会



和歌山県私立学校連合会  
会長 坂本 順一

第五十回和歌山県私立学校振興大会の開催にあたり、私立学校連合会を代表してご挨拶と御礼を申し上げます。

本年は第五十回という記念すべき大会でございますが、これまでの歴史は決して平坦な道のりばかりではなかったと存じます。

創立当初とは時代が大きく変化  
する中、その時々様々な課題や困難  
を乗り越え、今日まで当協会が存続  
してまいりましたことに対し、改めて  
これまでの連合会会長様はじめ、多  
くの皆様方のご協力とご尽力に御礼  
申し上げますとともに、県当局や関  
係各位から賜ってまいりましたご支  
援のご指導に深く感謝申し上げます。次  
第でございます。

さて今日、我が国では少子化が急  
速に進み、園児、児童生徒の絶対数の  
減少という大きな課題に直面してお  
ります。こうした中で、私学の運営は

大変厳しいものではありませんが、各  
園、各校におきましては常に経営と  
教育の改革に努力し、子ども達が安  
心して通い、学べる環境を提供できる  
よう努めているところでございます。

また、近年の科学技術の進展はめ  
ざましく、高度情報化、グローバル化  
等は加速し、様々な点での国際競争  
が激化しております。このような時  
代の中で学力向上はもとより、変化  
に柔軟かつ敏感に対応する力を備え  
る国際感覚豊かな人材が求められて  
おります。専修学校、各種学校にあつ  
ては産業および経済界から即戦力と  
して期待される人材の育成に努めて  
いるところでございます。

第五十回大会を期に、今後とも  
私ども私立学校がそれぞれの建学  
の精神のもと、相互に連携・協力し  
あいながら、本県の公教育の一翼を  
担う存在として先導的な役割を果  
たすとともに、私学で学ぶ全ての子  
ども達の夢や希望の実現に向け全  
力を傾注する決意を新たにするも  
のでございます。

県当局はじめ関係各位、保護者の  
皆様方、地域の皆様方の変わらぬご  
支援と協力をお願い申し上げ、ご挨拶  
といたします。

## 私学教育への貢献をたたえて

### ☆知事感謝状

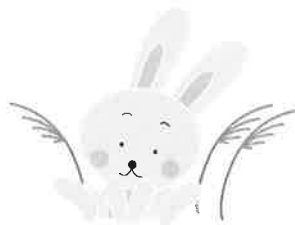
西岡 五雄	開智中学校高等学校
鳥井 昇	開智中学校高等学校
亀井 俊英	近畿大学附属新宮高等学校中学校
山本 謙三	近畿大学附属和歌山高等学校中学校
宮本 尚子	鷺森幼稚園
菅田 良仁	ぶつこく幼稚園
辻本 享世	萩原さまの総合学院
青木 有美子	高垣計算実務学校

### ☆会長特別表彰

小倉 勲	元和歌山県私立学校連合会会長
稲田 武彦	元和歌山県私立学校連合会会長
西下 博通	前和歌山県私立学校連合会会長

### ☆会長表彰

高松 雅貴	開智中学校高等学校
加茂 友基	開智中学校高等学校
林 三千夫	和歌山信愛中学校高等学校
田村 学	和歌山信愛中学校高等学校
仲川 淳三	和歌山信愛中学校高等学校
伊澤 篤紀	智辯学園和歌山中学校高等学校
市川 文彦	智辯学園和歌山中学校高等学校
氏野 修次	近畿大学附属和歌山高等学校中学校
松本 千珠子	近畿大学附属和歌山高等学校中学校
小栗 佳子	近畿大学附属和歌山高等学校中学校
芝 正浩	近畿大学附属和歌山高等学校中学校
瀧 好弘	近畿大学附属和歌山高等学校中学校
谷山 尚美	いさお幼稚園
辻 佐知子	いさお幼稚園
榎本 雅美	さくら幼稚園
植中 敬	ナザレ幼稚園
武田 慎介	名草幼稚園
松下 瑞良	湯浅幼稚園
松村 敏彰	雄湊幼稚園
田中 志奈	野崎幼稚園
松村 安佐子	和歌山高等美容専門学校
野上 紀子	和歌山YMCA国際福祉専門学校
日高 亜季	和歌山コンピュータビジネス専門学校





和歌山県知事  
仁坂 吉伸

第五十回和歌山県私立学校  
振興大会の開催を心からお慶  
び申し上げます。

私立学校の皆さんには、そ  
れぞれの建学の精神と独自の  
教育理念のもと、特色ある教  
育を展開されていることに対  
し、感謝申し上げます。ま  
た、学業やスポーツのみなら  
ず、様々な分野において活躍  
する優秀な人材を多数輩出さ  
れるなど、すばらしい成果を  
残してこられましたことに深  
く敬意を表します。

特に本年度は、第五十回と  
いう大きな節目の大会であり  
ます。私立学校が長年にわた  
り、本県の教育の発展に大き  
く寄与されてきたことに、改  
めて敬意と感謝を表します。

近年、我が国を取り巻く状況  
は大きく変動しています。科学  
技術の進展、経済や情報のグ  
ローバル化、少子高齢化等、大  
きな時代の転換期に直面してお  
り、これまで日本を支えてきた  
社会経済システムの大幅な見直

しが迫られています。それに伴  
い、教育に対するニーズが多様  
化する一方、幼児、児童生徒の  
減少も進み、私立学校を取り巻  
く状況は一層厳しさを増してい  
ます。

このような中、県において  
は、地域経済の活性化や人口  
減少の抑制に向け取り組みと  
ともに、本年は今後十年の目  
標と実行計画を定める、新た  
な長期総合計画の策定を進め  
ています。

教育分野では、教育は未来  
への投資であり、未来の和歌  
山づくりの根幹であるとの認  
識のもと、「和歌山県教育振  
興基本計画」を定め、5つの  
基本的方向に沿った様々な施  
策を展開しています。皆さん  
におかれましても、引き続き  
豊かな経験と情熱をもって、  
学校教育をはじめ、家庭や地  
域と連携した教育活動に取り  
組んでいただきますようお願い  
いたします。

最後に、和歌山県各私立学校  
の益々の御発展と皆さんの御活  
躍、並びに本大会が実り多いも  
のとなることを祈念してお祝い  
の言葉といたします。



人生のスタートにこそ良質な教育を  
保育臨床の視点を大切に、保育の質を問いつけよう  
質の高い私学教育で 夢と希望を育もう 小学校 中学校 高等学校  
高い職業意識と専門技術を持つ人材を養成する  
専修学校 各種学校

幼稚園

## 大会 次 第

- 一 開会宣言
- 二 国歌斉唱
- 三 私立学校連合会会長挨拶
- 四 来賓祝辞・来賓紹介
- 五 知事感謝状贈呈
- 六 会長表彰授与
- 七 会長特別表彰授与
- 八 祝電披露
- 九 大会宣言決議
- 十 記念事業  
「往住めぐみ  
ヴァイオリン  
リサイタル」  
ヴァイオリン  
往住 めぐみ  
ピアノ伴奏  
小川 友子
- 十一 閉会宣言

## 第五十回和歌山県私立学校振興大会決議文

記

和歌山県の私立幼稚園、私立  
小学校・中学校・高等学校、私  
立専修学校・各種学校は、建学  
の精神のもと、特色ある教育を  
実践することにより、社会の発  
展に貢献する人材の育成に努  
めています。

本日、第五十回和歌山県私立  
学校振興大会の開催にあたり、  
私たちは、本県の教育の充実と  
発展に寄与するため、より一層  
の精進を重ねてまいります。

未だ経験したことのない厳し  
い教育環境の中で、県下の私立  
学校が、教育内容をさらに充実  
させ、その使命を果たすには、  
多くの困難や課題があります。

次の事項について県ならびに  
市町村行政担当各位の尚一層  
のお力添えを賜りますようお願い  
申し上げます。

- 一、教育基本法第八条（私立学  
校の有する公の性質及び学  
校教育において果たす重要  
な役割にかんがみ国及び地  
方公共団体は、その自主性  
を尊重しつつ、助成その他  
の適当な方法によって私立  
学校教育の振興に努めなけ  
ればならない。）の主旨に  
のっとり、幼稚園・小学校・  
中学校・高等学校の教育を  
より振興するための助成  
二、技術革新の急速な進歩に応  
じて、私立専修学校・各種  
学校の教育施設を改善整備  
するための助成  
三、就園・就学に要する教育費  
の保護者負担の軽減





第50回和歌山県私立学校振興大会記念事業

往住めぐみヴァイオリンリサイタル  
ピアノ伴奏 小川友子

平成28年 10月26日(水) 15:00開演

和歌山県民文化会館 大ホール

PROGRAM

クライスラー	プニャーニの様式による前奏曲とアレグロ
サン・サーンス	序奏とロンド・カプリチオーソ
赤とんぼ	
浜辺の歌	その他

# PROFILE

## 住めぐみ MEGUMI TOKOSUMI ヴァイオリニスト

和歌山市出身。音楽一家に生まれる。音楽教育の教授であった父、ピアノ教師の母から音楽の手ほどきを受ける。ヴァイオリンを根来寛子、山岡耕筈氏に師事。

和歌山信愛女子短期大学附属高等学校を卒業後、1987年ウィーン国立音楽大学入学。  
1998年同大学院修士課程修了。

ソリストとして14歳の時大阪ザ・シンフォニーホールでブルッフヴァイオリン協奏曲、その後ヴィヴァルディ四季、モーツァルト、ベートーヴェン、チャイコフスキーヴァイオリン協奏曲をオーケストラと共演。1994年ウィーン芸術週間、2007年チェコ現代音楽祭"プラハ・プレミエー"、"ミュージック・フォーラム"にソリストとして出演。

2011年3月、チェコ少年合唱団"ボニ・プエリ"から招聘され、東日本大震災津波犠牲者追悼コンサートで客演。

オーケストラ奏者として主にシュテュットガルト室内管弦楽団、ベルゲン・フィルハーモニック管弦楽団(ノルウェー)、フラデッツ・クラローヴェ・フィルハーモニックオーケストラ(チェコ)、ノルウェー国立放送管弦楽団、クワズル・ナタールフィルハーモニック(南アフリカ)、ミナス・ジェライス・フィルハーモニック管弦楽団(ブラジル)で活動。秋山和慶、ラファエル・ブリューベック・ドブルゴス、クリストフ・ペンデレツキ、ドミトリー・キタエンコ、シモーネ・ヤング、アラン・ギルバート、ダヴィッド・ゲリンガスの指揮下で演奏。

2000年、オスロに於いてティナ・ターナーが出演したノーベル平和賞コンサートで伴奏を務めたノルウェー国立放送管弦楽団の一員として出演。2009年、映画"のだめカンタービレ"最終楽章ウィーンロケにオーケストラのメンバーとして出演。

2015年5月に帰国、7月新宿にてストラディヴァリコンサートを行う。

1年間、東京都の音楽教室で教鞭を執る傍ら、演奏活動を行う。

2016年7月、プラシド・ドミンゴの開催するOperaliaコンクールにおいて、ドミンゴ指揮下で演奏。

メキシコのハリスコ・フィルハーモニック管弦楽団第2ヴァイオリン副首席としてふたたび活動拠点を海外に移す。

## 小川友子 TOMOKO OGAWA ピアニスト

和歌山市出身 和歌山県立桐蔭高等学校卒業

京都市立芸術大学卒業後 英国留学 ロンドンにてマリア・クルチョ女史に師事

出口美智子 横井和子 園田高弘の各氏に師事

全日本学生コンクール西日本大会中学の部 第2位入賞

1989年大阪厚生年金会館にてデビューコンサートを開催後、日本演奏家連盟推せんのリサイタル、シヨパン協会関西支部推せんのコンサート等数々の演奏会に出演する他

山田一雄指揮・京都市交響楽団(和歌山県民文化会館)、円光寺雅彦指揮・大阪フィルハーモニー交響楽団(ザ・シンフォニーホール)と協演、好評を得る。

また、室内楽においても内外の演奏家と共演を重ねている。

2002年より大阪のフェニックスホールにおいて独自企画による「ピアノ室内楽シリーズ」を開催

読売日本交響楽団のコンサートマスター 小森谷巧氏(ヴァイオリン)と唐沢安岐奈氏等による室内楽は「音楽の友」にも絶賛され毎回好評を得ている。

一方、「文学とクラシック音楽の出会い」等独創性豊かな活動を展開する他、学校や支援学校へ生演奏を届けるアウトリーチコンサートを15年近く続けている。

平成21年度 和歌山県文化奨励賞受賞

現在、相愛大学音楽学部講師